

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年11月13日（水）
- 2 確認箇所
増設多核種除去設備（図1）
- 3 確認項目
高性能容器（HIC）スラリー移替え作業の状況

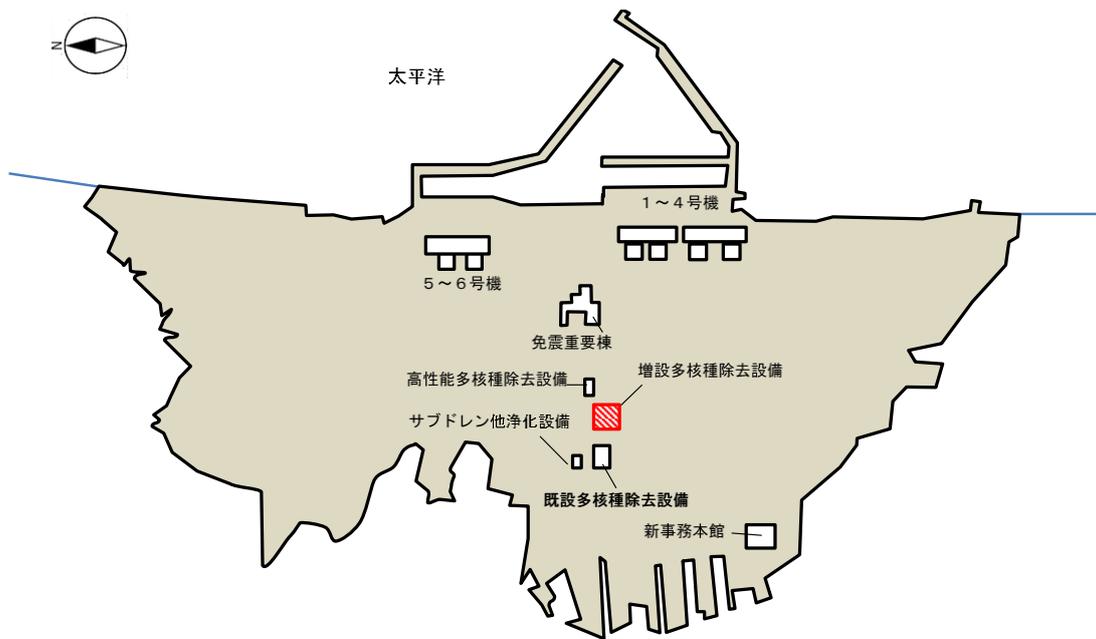
4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜確認している。本日は、増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）建屋内で実施されている高性能容器（以下「HIC」という。）スラリー移替え作業^{*1}の状況を確認した。（前回確認日：令和4年2月24日）

- ・当日は、クレーンを用いて、スラリーの移替えを行うHICを、増設ALPS建屋内へ搬入する作業が行われていた。（写真1）
- ・クレーン作業は所定の手順通りに進められており、安全確認や手信号による合図等が適切に行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲において、HICからの漏えい等はなかった。

※1 多核種除去設備（ALPS）での処理時に発生した炭酸塩スラリー^{*2}を保管するHICのうち、スラリーからのβ線照射によって積算吸収線量が5,000kGyを超えると評価されたHICについては、落下した場合、健全性を損なうおそれがあるため、スラリーの移替え作業が行われている。

※2 液体と固体が混合した泥状物。ALPSの前処理段階において、薬剤を注入した後には生じる細かい沈殿物が水と混じりあったもの。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 移動用遮蔽体からの
HICのつり上げ

(写真1②)
クレーン
による
HICつり上
げ



(写真1③) オペレータによる操作



(写真2) 搬入口での操作

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。